

ホロホローの森の植物

ここでは、森の一部の植物をご紹介します。



ナガバカニクサ

フサシダ科

茎は針金状で硬く、他の植物や岩などからみつくつる性のシダで、方言名は「ヒージャーケルバサー」。胞子をつける胞子葉は小さく分裂します。



ホウビカンジュ

ツルシダ科

石灰岩地の岩上や樹幹などの乾いた環境で普通にみられます。葉は長さ1~1.5mで垂れ下がってつき、鳳凰の尾(ホウビ)のようなシダ(カンジュ)が名の由来。



サダノウ

コショウ科

石灰岩地の岩場の上に群生し、葉はだ円形で厚みがあります。春季、花茎が伸び小さな花がびっしりつきますが、花には花びらやがくはありません。ホロホローの森では多くの群落がみられます。



フウトウカズラ

コショウ科

つる性植物で、葉はつやがあり5本の葉脈が目立ちます。幼葉の形はアサガオにも似ています。5月頃穂状で小さな花が咲き、球形の実は熟れると赤くなります。



ピパーツの近縁種だよ!

アコウ

クワ科



アコウの実▲



石灰岩地の林を構成するイチジク属の主要な高木です。春先や台風後などに一斉に落葉し、新芽を出します。葉はだ円形で太い8対以下の側脈があり、径約1cmの実は淡紅色に熟します。幹から気根を出し、岩や崖に張りついたり、他の植物を絞め殺して成長します。



カラムシ

イラクサ科

葉や茎に短毛が密生しており、衣類にくっつけてワッペン遊びができます。葉裏が銀灰色にならず、緑色のものをノカラムシ(変種)と呼びます。茎(カラ)を蒸して繊維として利用し、苧麻(ちよま)という別名があります。アカタテハ、リュウキュウムラサキの食草です。



コウシュウウヤク

ツツラフジ科

石灰岩地帯に多く、葉は薄く表面につやがあります。葉の基部から伸びる3本の葉脈が目立ちますが、クスノキの仲間ではありません。花は黄緑色で、実は径約5mmで熟れると黒くなります。



ヤブニッケイ

クスノキ科

主に石灰岩地の林内に生えるこう高木で、葉には3本の葉脈が目立ちます。方言名がホロホローで、ホロホローの森は本種が多くみられることから名付けられました。枝にタマバエの仲間が寄生し、串刺し団子のような虫こぶができます。アオスジアゲハの食草です。